

## コロンビア定期報告：政治外交情勢（2026年4月～5月）

### 1 概要

#### 【内政】

- (1) ロア・エコペトル社社長の休職
- (2) ペトロ大統領によるデラエスプリエジャ大統領候補に関する発信
- (3) 国家防災局を巡る汚職疑惑に関する元政府高官への起訴
- (4) 政府の経済緊急事態宣言に対する違憲判決
- (5) 政府による年金基金資金移管に関する政令に対する一時差止め
- (6) 親ペトロ政権デモ
- (7) バルガス・ジェラス元副大統領の死去
- (8) 違法犯罪組織クランデルゴルフのメンバーに対する逮捕令状の停止要請
- (9) 政府による医療保険会社間の加入者強制移管に関する政令の一時差止め
- (10) 大統領選挙第一回投票

#### 【外交】

- (1) ビジャビセンシオ外務大臣のフランス訪問
- (2) ペトロ大統領のスペイン訪問
- (3) エクアドルとの関係悪化
- (4) コロンビア・ベネズエラ首脳会談
- (5) 化石燃料の段階的廃止に関する国際会議の開催
- (6) ビジャビセンシオ外務大臣のNY訪問
- (7) ビジャビセンシオ外務大臣のメキシコ訪問
- (8) ボリビアとの外交危機
- (9) コロンビア・中国二国間外相会談
- (10) カルバハリノ農業大臣の訪中

### 2 本文

#### 【内政】

- (1) ロア・エコペトル社社長の休職

2022年ペトロ大統領選挙キャンペーン責任者を務めた後、当国エネルギー公社エコペトル社の社長に就任し、様々な汚職疑惑で司法手続きに直面していたリカルド・ロア同社社長が4月6日に休職した。その後5月8日、検察庁は同社長に対する起訴を行った。

- (2) ペトロ大統領によるデラエスプリエジャ大統領候補に関する発信

4月5日、ペトロ大統領は、デラエスプリエジャ大統領候補がトーマス・グレッグ・アンド・サンズ社との間で、大統領選挙における支持と引き換えに旅券作成委託契約を与えるた

めの会合をもっていたとする諜報機関の報告について投稿を行った。これに対しデラエスプリエジャ候補は、ペトロ大統領の発信が不当な通信傍受にあたるとして下院弾劾委員会に対する告発を行った。

### (3) 国家防災局を巡る汚職疑惑に関する元政府高官への起訴

4月7日、検察庁はペトロ政権下での国家防災局（UNGRD）を巡る汚職疑惑に関連し、昨年12月から拘留されているボニージャ元財務大臣及びベラスコ元内務大臣に対する起訴状を提出した。ただし、検察の手続きの遅れから、ボニージャ元大臣は拘留を解かれることとなった。

### (4) 政府の経済緊急事態宣言に対する違憲判決

4月9日、憲法裁判所は、ペトロ政権が昨年12月に発出した経済緊急事態宣言について、緊急事態を正当化する要件が認められないとして違憲判決を下した。また、同宣言を通じた酒類及び賭博に対する課税を無効とし、既に徴収した税金の返還を命じた。

### (5) 政府による年金基金資金移管に関する政令に対する一時差止め

4月28日、行政裁判所は、政府が民間年金基金から公的年金基金（Colpensiones）への強制資金移管を命じた政令に対し、労働者の貯蓄を不当に扱うとして一時差止めを命じた。

### (6) 親ペトロ政権デモ

5月1日、全国でペトロ政権を支持するためのデモが平和裏に行われた。ペトロ大統領はメデジンで行われたデモで演説を行い、社会改革に抵抗するエスタブリッシュメントを批判するとともに、制憲議会の招集や大統領選挙における左派候補への支持を訴えた。

### (7) バルガス・ジェラス元副大統領の死去

5月8日、当国の著名な政治家であり、急進変革党の党首であったヘルマン・バルガス・ジェラス元副大統領が死去した。コロンビアのインフラや社会開発分野で多大な指導力を発揮した同元副大統領の死に対し、政財界から同氏を悼む声が広く聞かれた。

### (8) 違法犯罪組織クランデルゴルフのメンバーに対する逮捕令状の停止要請

5月8日、ペトロ大統領は検察庁に対し、和平交渉の進展のためとしてクランデルゴルフの最高指導者を含む構成員29名に対する逮捕令状の停止を要請した。同12日、検察庁は検証可能な情報が得られるまで逮捕令状の停止を行わないとしてペトロ大統領の要請を拒否した。

### (9) 政府による医療保険会社間の加入者強制移管に関する政令の一時差止め

5月10日、行政裁判所は、政府による600万人以上の民間保険会社加入者を公的保険会社へと強制移管する政令を一時差止めする決定を行った。

#### (10) 大統領選挙第一回投票

5月31日、大統領選挙第一回投票が平穩裏に行われた。選管当局の開票速報によれば、右派アベラルド・デラエスプリエジャ候補が約43%、左派イバン・セペダ候補が約40%を得票し、6月21日に予定される決選投票に進出することが決定した。

### 【外交】

#### (1) ビジャビセンシオ外務大臣のフランス訪問

4月16日、ビジャビセンシオ外務大臣はフランスを訪問し、ジャン＝ノエル・バロ仏欧州・外務大臣と会談した。同会談では、環境、気候変動、通商、和平協力等について協議が行われた。その他、ビジャビセンシオ外務大臣はユネスコ本部を訪問し、無形文化遺産の保護等に関する状況を確認した。

#### (2) ペトロ大統領のスペイン訪問

4月18日、ペトロ大統領はスペインを訪問し、サンチェス西首相が開催した「民主主義を守るための国際総会」に出席した。同総会においてペトロ大統領は、国際社会の不平等や多国間主義の危機といった地球規模課題に取り組む必要性を訴えた。

#### (3) エクアドルとの関係悪化

4月8日、ペトロ大統領は、ホルヘ・グラス元エクアドル副大統領について政治犯と発言した。これを受け、エクアドル外務省は在コロンビア・エクアドル大使を召還するとともに、5月以降対コロンビア関税を50%から100%に引き上げると発表した。

#### (4) コロンビア・ベネズエラ首脳会談

4月24日、ペトロ大統領はカラカスを訪問し、ロドリゲス・ベネズエラ大統領代行と二国間首脳会談を行った。同会合では、国境地帯の治安対策、安全保障、移民、通商、エネルギー協力等について協議が行われるとともに、両国は今後の組織犯罪対策の強化について合意した。

#### (5) 化石燃料の段階的廃止に関する国際会議の開催

4月28及び29日、コロンビア政府は化石燃料の段階的廃止に関する国際会議を開催した。同会議は、昨年のベレンにおける第30回国連気候変動枠組条約締約国会議(COP30)において脱炭化水素イニシアチブが頓挫したことを受け、同分野の取組を促進する目的で開催された。

(6) ビジャビセンシオ外務大臣のNY訪問

5月6日、ビジャビセンシオ外務大臣は国連本部における第2回国際移住レビューフォーラムに参加し、コロンビアの移民政策の進展について報告した。また、同8日にはオジョス・パナマ外務大臣と外相会談を行い、国境地帯の治安や麻薬対策等について協議を行った。

(7) ビジャビセンシオ外務大臣のメキシコ訪問

5月16日、ビジャビセンシオ外務大臣はメキシコを訪問し、在モンテレイ・コロンビア総領事館の開会セレモニーに参加した。また、同18日にはメキシコシティにおいてベラスコ墨外務大臣と外相会談を行い、麻薬対策や地域統合に向けた取組に関する協議を行った。

(8) ボリビアとの外交危機

5月17日、ペトロ大統領は、ボリビア国内の抗議活動に関し、パス政権の対応を批判するとともに仲介役を申し出る発信を行った。これに対し、ボリビア政府はガルシア駐ボリビア・コロンビア大使を追放する決定を行ったところ、コロンビア政府もモリーナ駐コロンビア・ボリビア大使を追放する決定を行った。

(9) コロンビア・中国二国間外相会談

5月26日、NYを訪問中のビジャビセンシオ外務大臣は王毅中国外務大臣と外相会談を行った。同会談では、経済、貿易、投資、インフラ等の分野における二国間協力に関する協議が行われた。

(10) カルバハリノ農業大臣の訪中

5月26日、カルバハリノ農業大臣が訪中し、張治礼 (Zhang Zhili) 中国農業農村部副部長と会談を行った。同会談では、二国間の農業協力や農産品貿易促進に関する協議が行われた。また、同大臣は孫梅君 (Sun Meijun) 中国関税総局長と会談し、農産品輸入許可の取組について協議した。

(了)